

事業計画書目次

[瀬谷 区]

3款 2項 1目

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和6年度		令和5年度		増△減(6-5)		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	統合事務費	20,301	20,131	22,129	21,959	△ 1,828	△ 1,828	
3	広報よこはま発行事業	8,542	7,342	8,295	7,399	247	△ 57	
4	市民相談事業	1,776	1,776	1,719	1,719	57	57	
5	クリーンタウン横浜事業	1,000	1,000	1,080	1,080	△ 80	△ 80	
6	消費生活推進事業	760	760	810	810	△ 50	△ 50	
7	緊急時情報システム運用事業	480	480	480	480	0	0	
8	スポーツ推進委員支援事業	1,755	1,755	3,204	3,204	△ 1,449	△ 1,449	
9	青少年指導員事業	3,296	3,296	1,847	1,847	1,449	1,449	
10	学校・家庭・地域連携事業	960	960	960	960	0	0	
11	健康づくり月間事業	160	160	180	180	△ 20	△ 20	
	計	39,030	37,660	40,704	39,638	△ 1,674	△ 1,978	

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	22					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	統合事務費				予算区分	統合事務事業費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	20,301	0	0	170	0	20,131
令和5年度	22,129	0	0	170	0	21,959
増▲減	▲1,828	0	0	0	0	▲1,828

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	22,143	22,129	20,301	20,301	20,301
	市債+一般財源	21,983	21,959	20,131	20,131	20,131
決算	事業費	20,363	22,680			
	市債+一般財源	20,193	22,510			

事業概要 (アクティビティ)	各課で事務・運営を行っていくために必要な事務費を適正に執行します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標						
		実績						
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標						
		実績						
事業目的	区が主体的に各事業への予算配分や事業展開を図ること、地域ニーズを踏まえたきめ細かいサービス提供につなげるために各局から統合された事務経費です。							
背景・課題								
根拠法令・方針決裁等								
根拠・データ等								
事業スケジュール	平成26年度 「統合事務費」を自主企画事業費とは別に、区庁舎・区民利用施設管理費と一体で「一般管理費」として計上 令和元年度～ 統合事業費と合わせて「統合事務事業費」として計上							
事業開始年度	平成26年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	総務課	4,376	5,376	▲1,000
2	区政推進課	781	797	▲16	見直しによる減
3	地域振興課	622	635	▲13	見直しによる減
4	戸籍課	2,495	2,546	▲51	システム稼働等による減
5	税務課	319	319	0	
6	福祉保健課	1,543	1,574	▲31	印刷機種更新等による減

細事業(事業内訳)	7	高齢・障害支援課	833	850	▲17	ペーパーレス化推進による減
	8	こども家庭支援課	1,585	1,985	▲400	見直しによる減
	9	生活支援課	7,520	7,820	▲300	見込額の減
	10	保険年金課	47	47	0	
	11	土木事務所	180	180	0	
	細事業合計		20,301	22,129	▲1,828	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	松田 悟	加藤 系	近藤 詩織

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	区政推進課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	23					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	広報よこはま発行事業					予算区分	統合事務事業費				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	8,542	0	0	1,200	0	7,342
令和5年度	8,295	0	0	896	0	7,399
増▲減	247	0	0	304	0	▲57

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	7,866	8,126	8,542	8,542	8,542
	市債＋一般財源	7,389	7,379	7,342	7,342	7,342
決算	事業費	7,506	7,805			
	市債＋一般財源	6,883	6,909			

事業概要 (アクティビティ)	区政に関する情報等を掲載した広報紙「広報よこはま瀬谷区版」を発行し、配布します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
広報よこはま瀬谷区版世帯配布率(4月号調べ)	単位	目標	90	90	90	90	90	90
	%	実績	90.8	90.4	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
区版アンケートで内容等について「(とても)良い」と回答した人の割合	単位	目標	—	95	95	95	95	95
	%	実績	95.7	96.5	/	/	/	/
事業目的	区の施策・制度、催しなど、区民生活に必要な情報を提供することで、瀬谷区民の「福祉の増進」「文化的生活の向上」「生活利便の向上」「区民意識の醸成」に寄与することを目的として発行します。 広報紙を発行することで、適時適切に、多くの世帯に区の情報を直接届けることができます。							
背景・課題	分かりやすい内容の広報紙の編集・発行を通じて、区政に関する必要な情報を区民に伝えることが求められています。また、確実に全区民に情報を届けるためには、紙媒体による区内全戸及び公共施設等への配布が必要です。							
根拠法令・方針決裁等	広報よこはま瀬谷区版発行要領							
根拠・データ等	・世帯数：53,713世帯(令和5年4月1日現在) ・区の情報の入手手段について(複数回答可)※令和5年度瀬谷区区民意識調査(速報値) 広報よこはま瀬谷区版(各戸配布)から・・・77.7% 広報よこはま瀬谷区版(区内公共施設等設置PRボックス)から・・・8.2% 他回答：回覧板・掲示板から(47.6%)、タウン紙から(24.8%)等							
事業スケジュール	広報よこはま瀬谷区版 毎月1回発行(通年)							
事業開始年度	平成21年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	広報よこはま発行事業	8,542	8,295	247
	細事業合計	8,542	8,295	247	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 吉原 秀典	係長 網島 武子	佐藤 充泰
------------------------------------	-------------	-------------	-------

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	区政推進課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	24					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	市民相談事業			予算区分	統合事務事業費						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	1,776	0	0	0	0	1,776
令和5年度	1,719	0	0	0	0	1,719
増▲減	57	0	0	0	0	57

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	1,729	1,739	1,776	1,776	1,776
	市債＋一般財源	1,729	1,739	1,776	1,776	1,776
決算	事業費	1,709	1,725			
	市債＋一般財源	1,709	1,725			

事業概要 (アクティビティ)	区民サービス向上のため、弁護士などの専門相談員による相談（特別相談）を実施します。 実施相談内容：法律相談、司法書士相談、税務相談、交通事故相談、行政相談、民事調停手続相談、行政書士相談							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
瀬谷区特別相談実施日数※行政相談を除く	単位	目標	94	100	100	100	100	100
	日	実績	94	101	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
瀬谷区特別相談利用者数	単位	目標	461	449	449	450	450	450
	人	実績	450	450	/	/	/	/
事業目的	困りごとを抱える区民に、弁護士などによる専門相談を気軽に受ける機会を提供することで、解決に向けた支援を行い、区民満足度の向上につなげます。							
背景・課題	身近な行政機関である区役所では、区民からの相談に応じていますが、相談内容によっては、その解決に向けて法律等の専門的知識が必要となる場合が相当数あります。							
根拠法令・方針決裁等	瀬谷区特別相談に関する実施要綱							
根拠・データ等	特別相談相談件数（実績） ○法律相談：4年度321件／3年度339件／2年度325件 ○税務相談：4年度22件／3年度27件／2年度21件 ○司法書士相談：4年度47件／3年度39件／2年度26件 ※令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、一部の相談について申込受付停止期間あり。							
事業スケジュール	平成21年度：事業開始 令和2年度：要綱制定							
事業開始年度	平成21年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	市民相談事業	1,776	1,719	57	法律相談の実施日程が増えることによる増
	細事業合計	1,776	1,719	57		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 吉原 秀典	係長 網島 武子	鈴木 彩加
------------------------------------	-------------	-------------	-------

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	25					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	政策番号	19	施策番号	99
事業名称	クリーンタウン横浜事業					予算区分	統合事務事業費				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	1,000	0	0	0	0	1,000
令和5年度	1,080	0	0	0	0	1,080
増▲減	▲80	0	0	0	0	▲80

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	1,080	1,080	1,000	1,000	1,000
	市債＋一般財源	1,080	1,080	1,000	1,000	1,000
決算	事業費	750	872			
	市債＋一般財源	750	872			

事業概要 (アクティビティ)	美化推進重点地区（三ツ境駅と瀬谷駅の周辺地区）において、瀬谷区街の美化パートナーが空き缶や吸い殻などの散乱の防止に関する啓発、清掃等の活動を行います。								
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
活動日数	単位	目標	540	540	540	480	480	480	480
	人日	実績	375	361					
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
ごみ回収量	単位	目標	—	—	5,000	4,975	4,950	4,925	4,900
	グラム	実績	—	—					
事業目的	清潔できれいな街をつくり、快適な都市環境の確保を目指します。								
背景・課題	美化環境向上のため、清掃活動及び空き缶・吸い殻などの散乱防止に関する繰り返しの啓発活動等を行い、清潔できれいな街を維持する必要があります。								
根拠法令・方針決裁等	瀬谷区街の美化パートナー運営要綱、横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例								
根拠・データ等	瀬谷区街の美化パートナー運営要綱に基づき、「瀬谷区街の美化パートナー」（ボランティア）を委嘱し、美化推進重点地区（三ツ境駅と瀬谷駅の周辺地区）の清掃活動及び啓発活動を実施しています。 【瀬谷区街の美化パートナー委嘱者数】 三ツ境駅周辺地区3名、瀬谷駅周辺地区2名（令和5年8月現在） （要綱上の委嘱者数は各地区3名まで）								
事業スケジュール	美化推進重点地区の清掃活動、啓発活動（原則週2日、通年）								
事業開始年度	平成17年度								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	クリーンタウン横浜事業	1,000	1,080	▲80
	細事業合計	1,000	1,080	▲80	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 屋代 正男	係長 澤野 仁晴	倉橋 城司
------------------------------------	-------------	-------------	-------

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	26
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目	政策番号	99
事業名称	消費生活推進事業			予算区分	統合事務事業費	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	760	0	0	0	0	760
令和5年度	810	0	0	0	0	810
増▲減	▲50	0	0	0	0	▲50

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	810	810	760	760	760
	市債+一般財源	810	810	760	760	760
決算	事業費	810	810			
	市債+一般財源	810	810			

事業概要 (アクティビティ)
区内各地区の横浜市消費生活推進員が行う、消費生活の知識を広める地区活動（消費者被害防止に関する啓発講座の開催、地域の見守り活動への参加、環境に配慮した購買行動の推進、パネル展示や情報紙の発行等の広報活動、消費者と事業者の交流等）に対し助成金を交付し支援するとともに、横浜市消費生活総合センターと連携して消費生活情報を区民に提供します。

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
地区活動実施回数	単位	目標	50	50	45	45	45	45	45
	回	実績	41	72	/	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
センター相談件数 (瀬谷区)	単位	目標			500	500	500	500	500
	件	実績	448	468	/	/	/	/	/

事業目的
区民が、消費者トラブルや悪質商法・特殊詐欺の被害に遭わない合理的な意思決定ができる自立した消費者となり、地域における安全で快適な消費生活の実現を図るために、さまざまな機会をとらえた消費生活に関する知識・情報の普及啓発や消費者被害を未然防止・解決する相談機関の周知等を推進します。

背景・課題
社会経済の高度化・デジタル化等、消費者を取り巻く環境の大きな変化により、商品やサービスの内容はますます複雑になり、消費者トラブルが次々に発生しています。
また、高齢者を狙った巧妙な手口の悪質商法や特殊詐欺による被害が、多様化・深刻化し後を絶たない状況です。

根拠法令・方針決裁等
消費者基本法、横浜市消費生活条例、横浜市消費生活推進員要綱、瀬谷区消費生活推進員地区活動助成金交付要綱

根拠・データ等
○平成5年度瀬谷区の横浜市消費生活推進員数：93人
○平成5年度瀬谷区消費生活推進員地区活動助成金交付団体：9団体
○令和4年度消費生活相談受付件数（横浜市消費生活総合センター）：21,108件（対前年度33.0%増）
意図しない定期購入（約1.8倍増）、架空請求（約2.2倍増）、エステサービス（約3.6倍増）

事業スケジュール
消費生活推進員地区代表会議の開催（8・1月を除く毎月）
地区活動助成金の交付（5月）、各地区活動（随時）
瀬谷フェスティバルのブース出店（10月）、駅頭啓発（12月）

事業開始年度
平成6年度

(単位：千円)

細事業名称		6年度	5年度	差引 (増減)	増減説明
細事業 (事業内訳)	1 消費生活推進事業	760	810	▲50	活動内容見直しによる減
	細事業合計	760	810	▲50	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。

	課長 松岡 文和	係長 鈴木 正則	倉橋 城司
--	-------------	-------------	-------

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	総務課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	27					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	政策番号	35	施策番号	99
事業名称	緊急時情報システム運用事業					予算区分	統合事務事業費				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	480	0	0	0	0	480
令和5年度	480	0	0	0	0	480
増▲減	0	0	0	0	0	0

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	480	480	480	480	480
	市債＋一般財源	480	480	480	480	480
決算	事業費	483	479			
	市債＋一般財源	483	479			

事業概要 (アクティビティ)	災害発生時、警戒を要する気象情報や、避難(場)所開設情報等の緊急情報を取得できないという事態を避けるため、複数ある情報伝達手段のひとつとして、本システムを用いて情報伝達を行う。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
システム運用回数	単位	目標	2	2	2	2	2	2
	回	実績	3	3	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
登録件数(想定最大規模の洪水浸水想定区域内の自治会等)	単位	目標	77	77	77	77	77	77
	件	実績	-	-	/	/	/	/
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・区から直接防災・減災活動の核である、連合町内会長や自治会町内会長へ避難時期や避難先等を伝達し、その自治会・町内会の住民へ情報を周知することで、避難行動につなげていきます。また浸水想定区域内の施設に対しても同様に伝達します。 ・本システムは受信者が受信したか否かを確認できるため、未受信者へ個別の対応をすることができます。 ・なお、契約金額により、上限登録者数が定められていることから、一般市民に広く登録を促すものではなく、防災関係者など特定の関係者へ登録を促すものです。 							
背景・課題	災害発生時の区民への情報伝達において、情報を取得できないという事態を避けるため、地域や年代に応じた様々な伝達手段を構築する必要がある。							
根拠法令・方針決裁等	横浜市防災計画							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ●危険区域内の要援護者施設数 ・浸水想定区域(最大規模)：28施設 ・土砂災害警戒区域：5施設 ●登録可能者数：250件 							
事業スケジュール	通年で実施							
事業開始年度	平成22年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	緊急時情報システム運用事業	480	480	0
	細事業合計	480	480	0	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 松田 悟	係長 半戸 亨	橋本 樹
------------------------------------	------------	------------	------

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	28					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	政策番号	8	施策番号	1
事業名称	スポーツ推進委員支援事業					予算区分	統合事務事業費				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	1,755	0	0	0	0	1,755
令和5年度	3,204	0	0	0	0	3,204
増▲減	▲1,449	0	0	0	0	▲1,449

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	3,204	1,755	3,204	1,755	3,204
	市債＋一般財源	3,204	1,755	3,204	1,755	3,204
決算	事業費	3,203	1,755			
	市債＋一般財源	3,203	1,755			

事業概要 (アクティビティ)
市より委嘱を受けている横浜市スポーツ推進委員の活動を支援し、また連携・協働しながら、区民の生涯スポーツを行える機会や環境の提供することで、スポーツを通じて心身の健全育成や地域コミュニティの活性化を推進します。

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
瀬谷区スポーツ推進委員事業計画	単位	目標	14	14	14	14	14	14	14
	件	実績	14	14	/	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
瀬谷区スポーツ推進委員数	単位	目標	154	154	154	154	154	154	154
	人	実績	133	133	/	/	/	/	/

事業目的
本事業は、第3期横浜市スポーツ推進計画の趣旨も踏まえながら、瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会と連携・協働し、区域及び各地域において、誰もが気軽にスポーツを行える機会や環境の提供することで、スポーツを通じた心身の健全育成や地域コミュニティの活性化の推進を目的としています。

背景・課題
少子高齢化や新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、区民の体力向上や健康増進が課題となっています。

根拠法令・方針決裁等
スポーツ基本法、横浜市スポーツ推進委員規則、瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会に対する活動補助金交付要綱

根拠・データ等
 ・瀬谷区スポーツ推進委員人数 (R4.5月)
 <実績>平成30年度143人、元年度145人、2年度145人、3年度133人、4年度133人、5年度129人
 ・横浜市スポーツ推進委員人数 (R3.4月)
 <実績>元年度2,568人、2年度2,637人、3年度2,513人
 ・神奈川県スポーツ推進委員人数 (R3.4月)
 <実績>元年度4,634人、2年度4,655人、3年度4,534人

事業スケジュール
 令和元年度 地域におけるスポーツ振興活動を支援
 令和2年度 地域におけるスポーツ振興活動を支援
 令和3年度 地域におけるスポーツ振興活動を支援
 令和4年度 地域におけるスポーツ振興活動を支援
 令和5年度 地域におけるスポーツ振興活動を支援
 令和6年度 地域におけるスポーツ振興活動を支援

事業開始年度
平成22年度

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引 (増減)	増減説明
	1	スポーツ推進委員支援事業	1,755	3,204	▲1,449
	細事業合計	1,755	3,204	▲1,449	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。

	課長 松岡 文和	係長 山本 雅子	樋口 雄祐
--	-------------	-------------	-------

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	29					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	政策番号	3	施策番号	1
事業名称	青少年指導員事業			予算区分	統合事務事業費						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	3,296	0	0	0	0	3,296
令和5年度	1,847	0	0	0	0	1,847
増▲減	1,449	0	0	0	0	1,449

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	1,847	3,296	1,847	3,296	1,847
	市債＋一般財源	1,847	3,296	1,847	3,296	1,847
決算	事業費	1,846	3,296			
	市債＋一般財源	1,846	3,296			

事業概要 (アクティビティ)	市より委嘱を受けている青少年指導員の活動を支援し、地域ぐるみで青少年の健全育成を推進します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
瀬谷っ子探検隊参加人数	単位	目標	60	60	60	60	60	60
	人	実績	中止	中止	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
瀬谷かるた大会参加人数	単位	目標	60	60	72	84	96	108
	人	実績	中止	69	/	/	/	/
事業目的	青少年向けのイベント等により地域や自然との関わりを形成したり、夜間パトロール等により社会環境健全化を推進したりすることで、青少年が地域の中で安全かつ健やかに成長できる環境を整備します。また、青少年指導員の資質向上に向けた研修の実施や活動周知に向けた広報誌の発行など、地域における担い手の発掘・育成も行います。							
背景・課題	青少年と地域のつながりが希薄化する中、地域全体で青少年を見守る・育てるための環境整備は極めて重要であり、その推進役である青少年指導員は地域において非常に大きな役割を担っています。							
根拠法令・方針決裁等	神奈川県青少年保護育成条例、神奈川県青少年指導員委嘱要領、横浜市青少年指導員要綱、瀬谷区青少年指導員活動費補助金交付要領、第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画							
根拠・データ等	【地域とのつながりに関する意識】(出典：横浜市民生活白書2019) 「隣近所との付き合い方」ア：顔もよく知らない、イ：挨拶ぐらいする、ウ：たまに立ち話する、エ：一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている、オ：困ったとき、相談したり助け合ったりする ・1975年 ア：4.8%、イ：34.1%、ウ：26.0%、エ：17.3%、オ：14.5% ・2007年 ア：9.5%、イ：46.3%、ウ：29.7%、エ：6.3%、オ：7.6% ・2018年 ア：14.0%、イ：50.5%、ウ：26.5%、エ：4.8%、オ：3.8%							
事業スケジュール	平成21年度：事業開始							
事業開始年度	平成21年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	青少年指導員事業		3,296	1,847	1,449
	細事業合計		3,296	1,847	1,449	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 松岡 文和	係長 小池 崇裕	山本 章郎
------------------------------------	-------------	-------------	-------

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	こども家庭支援課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	30					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	政策番号	6	施策番号	2
事業名称	学校・家庭・地域連携事業				予算区分	統合事務事業費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	960	0	0	0	0	960
令和5年度	960	0	0	0	0	960
増▲減	0	0	0	0	0	0

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	960	960	960	960	960
	市債＋一般財源	960	960	960	960	960
決算	事業費	789	545			
	市債＋一般財源	789	545			

事業概要 (アクティビティ)	学校、家庭、地域が連携し、それぞれがもつ教育的機能を発揮することにより青少年が自立心をもち、人間性豊かに育つよう青少年の健全育成を進めます。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
交付団体数	単位	目標	5	5	5	4	4	4
	団体	実績	5	5	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
学校・家庭・地域のいずれかが連携して行われている事業の数	単位	目標	15	15	12	12	12	12
	事業	実績	19	18	/	/	/	/
事業目的	学校、家庭及び地域がお互いに連携し、それぞれの活動に活かすことで、次世代を担う児童・生徒が自己有用感を持ちながらも、人間性豊かに育つよう青少年の健全育成を進めます。							
背景・課題	昭和58年に市立中学校生徒を含むグループにより引き起こされた横浜浮浪者襲撃殺人事件を契機に、学校と家庭、地域が連携しながら児童生徒を見守り育む必要性が認識されました。							
根拠法令・方針決裁等	瀬谷区学校・家庭・地域連携事業推進要綱、瀬谷区学校・家庭・地域連携事業支援要綱							
根拠・データ等	・区内小・中学校数 2年度 小学校11校・中学校5校、3年度 小学校11校・中学校5校、4年度 小学校11校・中学校5校 5年度 小学校11校・中学校5校							
事業スケジュール	5月：推進協議会、6月：補助金交付、3月 事業完了報告							
事業開始年度	平成17年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	学校・家庭・地域連携事業	960	960	0
	細事業合計	960	960	0	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 小川 寛文	係長 今村 治可	佐々木 誠幸
------------------------------------	-------------	-------------	--------

令和6年度 事業計画書

事業局課	瀬谷区	福祉保健課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	31					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	政策番号	7	施策番号	1
事業名称	健康づくり月間事業					予算区分	統合事務事業費				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	160	0	0	0	0	160
令和5年度	180	0	0	0	0	180
増▲減	▲20	0	0	0	0	▲20

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	180	180
	市債＋一般財源	180	180
決算	事業費	24	123
	市債＋一般財源	24	123

令和7年度	令和8年度	令和9年度
160	160	160
160	160	160

事業概要 (アクティビティ)	保健・衛生に関する正しい知識の普及、健康寿命の延伸に向けた健康意識の啓発、市民と行政が連携した健康づくり運動の推進及び地域に根ざした自発的な健康づくりを促進し、市民の生涯にわたる健康づくりに寄与することを目的とする。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
各団体実施事業延参加人数	単位	500	2,000	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	人	230	1,959	/	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
健康づくり月間事業参加団体	単位	10	10	10	10	10	10	10
	団体	8	8	/	/	/	/	/
事業目的	本事業は、横浜市健康づくり月間事業実施要綱に基づき、保健・衛生に関する正しい知識の普及、健康寿命の延伸に向けた健康意識の啓発、市民と行政が連携した健康づくり運動の推進及び地域に根ざした自発的な健康づくりを促進し、市民の生涯にわたる健康づくりに寄与することを目的とします。 区域の実状にあった個性ある健康づくり推進事業や保健・医療機関及び各種市民団体と連携した事業の実施、および区民の各層が参加し、自ら健康づくりを普及する事業を実施することにより、生活習慣病予防や健康寿命の延伸が期待できます。							
背景・課題	平成8年度、瀬谷区民まつり「瀬谷フェスティバル」において各団体が健康づくりの普及・啓発事業を実施しました。 毎年、「瀬谷フェスティバル」で事業の実施をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行防止のため、令和2年度より2年連続中止となり、各団体の任意実施となりました。令和4年度は「瀬谷フェスティバル」が開催され、多くの区民に健康啓発を行いました。							
根拠法令・方針決裁等	健康増進普及月間実施要綱（厚生労働省）、横浜市健康づくり月間事業実施要綱、瀬谷区健康づくり月間事業の実施及び同事業補助金交付要綱							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・平均寿命および健康寿命とも本市平均を下回っている。（令和2年瀬谷区地区診断シート） 平成28年度 平均寿命 瀬谷区 男性：80.61（市 81.37）14位 <li style="padding-left: 20px;">女性：86.84（市 87.04）10位 健康寿命 瀬谷区 男性：78.89（市 79.61）13位 <li style="padding-left: 20px;">（平均自立期間）女性：83.24（市 83.30）10位 ・肺がんを除くがん検診の受診率が市の平均を下回っている。（令和2年度調査） 胃・子宮・乳・大腸・肺の平均受診率 瀬谷区 11.28%（市 12.78%） 							
事業スケジュール	平成8年度：事業開始。瀬谷区民まつり「瀬谷フェスティバル」において各団体が健康づくりの普及・啓発事業を実施。 令和2年度：活動の中心の場である「瀬谷フェスティバル」が新型コロナ感染拡大防止のため中止になったことにより、十分な活動ができませんでした。 令和3年度：前年に引き続き、「瀬谷フェスティバル」中止により、各団体の状況に応じて、任意で事業を実施。 令和4～5年度：多くの区民に健康づくりの知識を得てもらうため、集客の見込める「瀬谷フェスティバル」で事業を実施。 令和6年度：前年度に引き続き、「瀬谷フェスティバル」で事業を開催する予定です。							
事業開始年度	平成8年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	健康づくり月間事業	160	180	▲20	事業内容の見直しによる減
細事業合計		160	180	▲20		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 瀬戸 晶子	係長 保下 真由美	鑑野 妃奈
------------------------------------	-------------	--------------	-------